

ITセキュリティ・コンサルタント 吉田柳太郎さん がすべてを語る

地域住民と自治体のための

2004年9月1日 発行
吉田柳太郎・西邑亨 著 七つ森書館 刊
定価 1500円 + 消費税 四六判 200ページ

住基ネット・セキュリティ入門

自治体関係者のセキュリティ研修に最適・首長さん必読

セキュリティは専門家じゃないと口が出せない——なんてウソ!!

この本を読むのに技術の知識は不要です

「セキュリティ/個人情報保護」について、分からなかったこと・知りたかったことを全部(!?)、ITセキュリティ・コンサルタントの吉田柳太郎さん(長野県安全確認実験監督者)がお話します。

もう「住基ネットのセキュリティ」なんて 秘密でも何でもありません!

「私のプライバシーを守る」ためになにをするのか? 答はあなたがこの本の中から見つけてください。



<本書「もくじ」より>

- 第1章 [あたまの転換] 毅然とした態度でいいわけができますか?
- 第2章 [ことばのおさらい] ファイアウォール・VPN・IDS
- 第3章 [セキュリティ対策の限界] セキュリティレベルを100%にできないのはなぜ?
- 第4章 [セキュリティ対策の基本] やっておかなければならないことはなに?
- 第5章 [セキュリティ対策のコスト] 損失を防ぐ投資は利益を生む投資と同じものです
- 第6章 [不正アクセスの実態] 不正アクセスはどうやってやるの?
- 第7章 [セキュリティ対策の実際] 民間企業はどんな対策メニューを採用しているの?
- 第8章 [具体的な対策:長野県「安全確認実験」の結果から] まずパッチをあててください
- 第9章 情報セキュリティ10原則 できないことはやらない!

まえがきより 住基ネットの議論は、「安全/危険」の話ではありません。ネットワーク社会の「メリットと闇」をどう読み取るかがポイントとなる議論なのです。多くの情報セキュリティ技術者・研究者からは、現在の住基ネットをめぐる国(総務省市町村課)の議論は、技術以前の「超低レベル」のものに見えています。つまりここで必要とされているのは、議論の質的転換なのです。

ネットワーク社会の「メリットと闇」を直視した、広範な社会的議論が、的確なポイントを押さえるものとして深化されて行くなれば、住基ネットは現在のものとは本質的に異なるシステムになっていくでしょう。本書は、そうした議論の一步となることを目指しています。

注文方法(発送8月末以降)

1. 郵便局に行き、郵便振替用紙を手取る
2. 振込先の口座番号と加入者名を下記のように記入する
口座番号 00130-0-22957
加入者名 日本消費者連盟
4. 郵便振替用紙の「通信欄」に書名『住基ネット・セキュリティ入門』と冊数を記入する
5. 「ご依頼人」欄に、あなたの住所・氏名・電話番号を記入する
*「ご依頼人」欄は2か所あるのでご注意ください
6. 本代+送料の合計を金額欄に記入する(下記参照)
7. 現金を添えて窓口またはATMで申し込む

送料に関するお問い合わせ
日本消費者連盟

電話 03-5155-4765

	本代	1500円	×冊数	
送料	1冊	290円	2冊	340円
	3冊	450円	4冊	500円
	5冊以上はお問い合わせを			